

令和8年

# 走潟公民館だより 1月号



新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「集い・ふれあい・学び」  
走潟公民館長 芥川 学

館長 芥川学 アシスタント 中原好美

## 令和8年(2026年)のスタートは元旦駅伝!



優勝した南下地区



スタートの様子 小学生



白熱の3区での順位争い

結果 ~大変お疲れ様でした~

優勝	南下	2位	三ヶ	3位	東	4位	西上	5位	西下	6位	南上	7位	北平木
----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	-----

## ~12月を振り返って~

### お正月を迎える準備、恒例の“地域をきれいに!!”

### 「走潟一斉清掃」12・14(日):青少年健全育成協議会



参加者が小学校校庭に勢ぞろい



集まったごみは走潟公民館に持ち込みました

走潟地区青少年健全育成協議会（園村義晴会長）主催で、予定通り走潟地区のごみ拾いを実施いたしました。行政区長会・女性会・消防団・体協・小学生及びPTA・地域の有志などが小学校校庭で開会式の後、各地区に分かれて通学路やその周辺を、また、老人クラブは独自に実施されたようです。参加者の総勢は、120名ほどになりました。毎年、お正月を前に地域をきれいにしようと、子供から大人まで集まり実施しています。とてもきれいになりました。皆様大変お疲れ様でした。

## 第8回子供地域活動12・20(土)(ミニ門松づくり)

今年も、地域の方々に協力していただき孟宗竹の伐採を行い、門松に供える他の材料については、芥川雄二さんにお願いをして準備しました。毎年、準備が大変ですが、地域の皆さんのおかげで実施できています。

「今年も良いミニ門松ができました。これで年神さんをお迎えする準備が整いました。」とおっしゃるのは、長年講師をお願いしている芥川雄二さん。子供たちも、難しかったけどうまくできて良かった、楽しくできて良かったなど喜んでくれました。指導者の方々も、一緒に楽しくできて良かったと笑顔で話していただきました。事前の孟宗竹の準備には、竹山を紹介してくださった木下洋介さんや、伐採・搬送には地元の田代清成さん・芥川清二さん・田代美文さん・小山亨さんなど、大変お世話になりました。また、中尾耕太郎さんには、大きな“門松”を公民館に提供していただき正月を迎える良い準備ができました。さらには、毎回記録用の写真を提供してくださる富田孝一行政区長長さん、子供たちと一緒に作成していただいた小林校長先生にも感謝いたしますと共に、子供たちにとっても良い思い出になったと思います。



## 第6回生涯学習講座

### おいしいおやつづくり12・10(水)

#### ロールケーキ作り・修了式

今回は10名の参加がありました。

【おいしいおやつづくり】3班編成：野田保健師を入れて、3～4人ずつの3班編成。

○メニュー（ロールケーキ）

◎生地つくり ◎クリーム ◎トッピング（仕上げ）

【3年間の講座を終えての感想】

○終わってみれば早かったように思います。若い人の参加もあり楽しい時間でした。日頃の運動不足や栄養の取りすぎ等、考えさせられることばかりで大変勉強になりました。

○実際に参加する回数は少なかったのですが、普段自分が作らないようなお菓子を作ることができてうれしかったです。作ったお菓子を皆さんと食べることができておいしくいただきました。お世話いただいた皆様ありがとうございました。

○調理実習だけでなく、講義までとても勉強になりました。なかなかおやつを作ることがなくて、とてもどれも新鮮でした。とてもおいしかったです。参加者の皆さんとのおしゃべりも楽しみの一つでした。ありがとうございました。

○地域の方とおやつ作りを通して仲良くなれました。普段お菓子は作らないのですが、「習ったことを必ず1回は自宅でもする」と自分の目標を立て、家族からも喜んでもらえました。また、来年度実施していただきたいです。

○毎回とても楽しく、たくさん学ぶことが多くて勉強になりました。地域の方との交流もでき「班決め」が毎回ワクワクします。ぜひ、次回も機会がありましたら参加させていただきたいです。



講座を終えて 記念撮影



おいしくいただきました

○みんなで、おいしいものを作られていい時間でした。健康についての講義も大変勉強になりました。ただ作るだけではなかったので良かったです。お世話になりました。

○3年間ありがとうございました。おいしいおやつづくりと健康の話は、とても勉強になりました。簡単なおやつ作ってみたいと思います。ありがとうございました。

※3年間18回の講座でした。当初は、いろいろ不安もありましたが講師の小川管理栄養士や野田・野方保健師には大変お世話になりました。今後は参加者の感想にもありましたが、会員の主体的な取り組みによる自主講座として継続して行けたらと思います。公民館としては、全面的に支援をしていきたいと思います。

## 第6回成人講座「人権学習」12月3日(水)

今回は、地域の各種団体の代表、及び公民館運営委員の方々にリーダー研修として実施しました。講師には、今年、走湯小学校に赴任された小林校長先生にお願いしました。毎年ではありますが、小学校の管理職の先生にお願いし、広く人権についての啓発を目的として実施しています。今年も赴任早々ではありますが、快く引き受けてください、新鮮な情報やこれまでの経験に基づいたお話を聞くことができ、大変有意義でした。

### 演題「人権教育について」

講師 小林信一先生 宇土市立走湯小学校長

#### 《講義の内容》

1 初めに 2 自己紹介 3 走湯小学校の人権教育 4 これからの人権教育  
○日常の中の人権があり、正しく理解することが大事

○チーム走湯小、みんなの笑顔のために「150年分のありがとうをみんなに伝える走りっこ」「あいさつで人を笑顔にする走りっこ」に取り組んでいる  
○子供たちの言葉使いで気になること「死ね」は、テレビ・ユーチューブの影響が考えられ、知らず知らずのうちに人を傷つけていることに気づいて欲しい  
○11月は人権月間 学校では、授業参観として「性に関する指導と重ねて性教育、水俣に学ぶ、部落差別」を実施した。

### ○子供の人権

「すべての子供の権利を大切にしましょう」泣いていたり、寂しそうにしている子供を見かけたら「声をかけてほしい」「誰かに相談してほしい」「学校に電話してください」誰にも声をかけてもらえなかったら、そのような社会に子供たちは「絶望感」を覚えるでしょう。虐待を感じたら学校に連絡してください。

### ○外国の方との共生

走湯の一員として、必要とされて住んでいる。どのような接し方が大事なのか。「見た目や文化の違いを理解すること。相手を正しく理解しようとする態度が大切」そこが共生の入り口になるのではないか。と語られました。

※今回の講義を受けて、人権というと何か特別のことだと感じている人がいると思いますが、何気ない日常の生活の中に、人権はその生活の基盤として成り立っているということが分かりました。

また、今回のお話を聞いて、人を正しく理解することの大切さ、そのためには積極的に人と関わっていこうとする態度と行動が大事だということも分かりました。

公民館の役割である「集い・ふれあい・まなび」について、さらに人権の視点を大切にしながら、様々な事業を展開していかなければならぬと、改めて思いました。

### 行事予定

1月14日(水)男の料理教室②9:30走湯公民館

1月17日(土)青空教室「おいしいおやつづくり・読み聞かせ」9:30走湯公民館

2月1日(日)走湯小PTA「リサイクル活動」9:00

2月14日(土)走湯小学校創立150周年記念行事9:00走湯小学校体育館



小林校長先生



講話の様子